

SHOW HEY シネマルーム

★★★★

ぼくたちのムッシュ・ラザール

2011年・カナダ映画
配給/ザジフィルムズ、アルバトロス・フィルム・95分

2012 (平成24) 年6月12日鑑賞

角川映画試写室

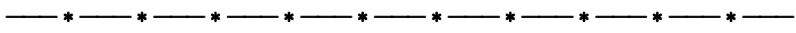
Data

監督・脚本：フィリップ・ファラルド
原作：エヴリン・ド・ラ・シュヌリエール
出演：モハメド・サイド・フェラグ／ソフィー・ネリッセ／エミリアン・ネロン／ダニエル・ブルール／ブリジット・ブパール／ルイ・シャンパーニュ／ジュール・フィリップ／フランシーヌ・ルール／ソフィー・サンカルティエ

👁️👁️ みどころ

小学校の担任教師が教室で首つり自殺！それを目撃した生徒やクラスメートたちのショックは？学校の対応は？アルジェリアからの移民ラザールが即採用されたのはカナダ流(?)だが、これが意外に掘り出し物。しかし、あまりに自殺問題に固執しすぎると？また、その素性がバレると？

静かに訪れるクライマックスは、さすがアカデミー賞外国語映画賞ノミネート作！荒れた教室、実のない授業からの一新を目指すには、こんな本音を語る授業が不可欠だが・・・。



■□■フランスだけでなく、カナダにもこんな名作が！■□■

『最強のふたり』(11年)、『屋根裏部屋のマリアたち』(10年)と2本続けてフランス映画の名作を鑑賞したが、その直前にはカナダ・アカデミー賞主要6部門を独占し、アメリカのアカデミー賞外国語映画賞にノミネートされたという本作を鑑賞。本作の舞台はカナダ、ケベック州の最大の都市モントリオールにある小学校だ。プレスシートによると、ケベック州は多数の移民を受け入れているらしいが、出身国別の移民者数は06年から10年の5年間のデータで、アルジェリアが第1位らしい。アルジェリアは北アフリカにある国だがなぜそんなところから？一瞬そう思ってしまうが、人口787万人のケベック州ではフランス系、英国系など欧州系が圧倒的に多いうえ、公用語はフランス語だから、なるほど、なるほど・・・。



『ぼくたちのムッシュ・ラザール』
発売：ニューセレクト/ザジフィルムズ 税込価格：3,980円
micro_scope inc. ©2011 Tous droits reserves

原題でもあり邦題にも使われている「ムッシュ・ラザール」とは、バシール・ラザール（モハメド・サイード・フェラグ）本人の説明によれば「バシールは“よい知らせ”、ラザールとは“幸運”の意味。」らしい。そんなムッシュ・ラザールがアルジェリアからケベック州へ移民してきたのはなぜ？そして、彼はなぜ今モンリオールの小学校の新しい教師に？そんな問題点をはらみながら、本作では担任教師が教室内で自殺したというショッキングな出来事の中で揺れ動く児童たちとムッシュ・ラザールとの心の交流が描かれていく。さあ、そんなカナダ映画の名作に注目！

■□■なぜ、ムッシュ・ラザールが新しい教師に？■□■

カメラは冒頭、雪が降り積もる校庭の中で思い思いに遊び回る児童たちの姿を追っていく。そんな中、クラスの牛乳当番だった男子児童シモン（エミリアン・ネロン）は一足早く校内に入り、クラス全員分の牛乳を入れたカゴを持って教室に入ろうとしたが、なぜか教室には内側から鍵が。こりゃ一体なぜ？不思議に思っ教室の中をのぞき込むと、首を吊った担任の女性教師マルティエヌの姿が目に入って来たからシモンはビックリ仰天。事情を聞いた教師は急遽児童を教室に入れないう指示したが、廊下に散らばった牛乳パックを見て女子児童のアリス（ソフィー・ネリッセ）が一人教室に近づき中をのぞくと・



『ぼくたちのムッシュ・ラザール』
発売：ニューセレクト/ザジフィルムズ 税込価格：3,990円
micro_scope inc. (c)2011 Tous droits reserves



『ぼくたちのムッシュ・ラザール』
発売：ニューセレクト/ザジフィルムズ 税込価格：3,990円
micro_scope inc. (c)2011 Tous droits reserves

マルティエヌ先生の死から1週間後、「先週つらい出来事がありました。こんな時こそ私たちは団結すべきです」と述べるヴァイアンクール校長（ダニエル・ブルール）の下に、学校側は①子供たちの心のケア②保護者への説明③代理教師の確保に奔走していた。そんな中で急遽、ムッシュ・ラザールの採用が決定。それは、「母国で19年間の教師経験がある」という彼が「子供たちの助けになりたい」と直接校長に談判してきたことの結果だが、そんな安易な人選でいいの？

■□■死と向き合う？それとも波風を立てない？■□■

ムッシュ・ラザールの授業は洗練されたスタイルではなかったが、アルジェリアからの移民らしく言葉を大切に扱うもの。その内容は私にはよくわからないが、これはきっと張藝謀（チャン・イーモウ）の名作映画『初恋のきた道』（00年）で、チャンユー先生が言葉の一つずつ子供たちに朗読させていた（『シネマルーム5』194頁参照）のと同じものだろう。そんな授業が続く中、児童たちの心の傷は少しずつ癒されてきたように見えたか

ら、ヴァイアंकール校長がマルティーン先生自殺の事件を早く忘れさせようとしていたのはある意味当然だ。

他方、ある日アリスが作文を朗読する中でマルティーン先生の自殺をどう受け止めるべきかについて迷っていることを知ったムッシュ・ラザールは積極的にそれと向き合おうとしたが、これは明らかに校長の方針に反するもの。その結果、校長からは「クラスはうまくいってる。波風を立てないで」と厳命された。さらに別の件では、ある児童の両親から「娘にはしつげではなく、勉強を教えてください」と責められたから、ムッシュ・ラザールは少し意気消沈。しかし、マルティーン先生の死を今なお消化できない児童がいるのなら、しっかりそれと向き合うべきでは？それとも、やはりヴァイアंकール校長が言うように、波風を立てない方がいいの？

■□■ 1枚の写真から、大きな波紋が・・・■□■

本作は95分と比較的短いが、中盤に登場する1枚の写真をめぐる大きな波紋が広がっていく。その写真は、教壇に立つマルティーン先生の写真に、マジックペンで背中に羽が、首にロープがいたずら書きされているものだった。これを持っていたのはシモンだが、それが発覚したのは、学校で開催されたダンスパーティーの最中にシモンこいつもからかわれている男子児童マーティンがシモンのポケットからこれを奪ったため。シモンはなぜこんな写真を？



『ぼくたちのムッシュ・ラザール』
発売：ニューセレクト/ザジフィルムズ 税込価格：3,990円
micro_scope inc. (c)2011 Tous droits reserves

その追及の中で明らかになったのは、シモンとマルティーン先生との間にある確執があったこと。その確執とは、補習授業の際に家庭の問題で落ち込んでいたシモンをマルティーン先生が軽く抱き寄せ、それをシモンが拒んだことによるもの。つまり、それを恥ずかしがったシモンが、後に「キスをされた」と吹聴したため大きな問題になったわけだ。そんな事件について学校側が取った処置は、いかなることがあっても教師が生徒に触れることを一切禁じるというものだったが、その是非は？これこそまさに「糞（あつもの）に懲りて膾（なます）をふく」ということでは・・・？

■□■ 後半からラストにかけて大きな転換が・・・■□■

今ほどの小学校でもホームルーム（のようなもの）があるはずだが、そこで児童たちにごこまで本音の話をしゃべらせるかが教師の腕の見せ所。しかし、中学生、高校生、大学

生になっても自分の考えをまとめて発表できない子供や若者が増えている日本の現状をみると、本作のラストに向けて転換されるムッシュ・ラザールのホームルーム風景は興味深い。校長から「クラスはうまくいっている。波風を立てないで」と言われていたにもかかわらず、マーティンがおじいちゃんの死について話題にしたのをきっかけに、ムッシュ・ラザールは「マルティーン先生の死について話したい人はいるか?」と問題提起。

これを受けてアリスが手を挙げて「シモンが何か言いたい」とシモンの発言を促したが、それはなぜ?マルティーン先生の自殺の姿を自分の目で目撃した児童はシモンとアリスの2人だけだったが、その死を現実起こったものとして受け止め作文を発表したアリスに対してシモンは一切そのことに触れないまま。そのことに偽善を感じ、いらだちを募らせていたアリスは以降何かとシモンに対してきつく当たっていたが、その行き着く先は?今アリスは、シモンに何を語らせたいの・・・?



『ぼくたちのムッシュ・ラザール』

発売：ニューセレクト/ザジフィルムズ 税込価格：3,990円

micro_scope inc. (c)2011 Tous droits reserves

■□■シモンやアリスの「叫び」とは?その対応は?■□■

アリスの誘導によってシモンはついに重い口を開くことになったが、涙を流しながらの告白内容はきわめて重大なもの。つまりシモンは、自分がキスをされたことと吹聴したためにマルティーン先生が追い込まれ、死を選んだのではないかと自分が牛乳当番の日に死を選んだのも、真っ先にその姿を自分に見せるためではなかったのか?と思ひ悩んでいたのだった。そして、その告白の最後は「僕のせいじゃない!」という叫びだった。この叫びを他の児童たちはいかにキャッチ?そして、そんなシモンに対して、またシモンの告白を聞いて動揺する児童たちに対して、ムッシュ・ラザールはどのような対応を・・・?

マルティーン先生がなぜ自殺したのか?それは誰がいくら推測しても所詮わからないこと。ましてや、自殺後の欠員を聞いて代理教師に応募してきてただけのムッシュ・ラザールにそれがわかるはずがない。しかしそれでも、子供たちが心を開いてその傷を正直に打ち明けてくれれば、教師として子供たちに何か語る言葉があるはず。しかしムッシュ・ラザールのそれは、「教室は絶望をぶつけ合うものではない」という印象深いものだった。な

るほど、これは苦労人ならではの！そう思えるムッシュ・ラザールのこの語りかけは、あなた自身の目でじっくりと。

■□■やはり本音が大切！あくまで心の触れ合いを！■□■

映画が人の心を打つのはなぜ？それは多くの場合スクリーン上で人間の本音を聞き、心の触れ合いを感じることができるためだ。本作は、教室での出来事を淡々と描いているだけだし、大スターを起用しているわけでもないから、制作費は大したことはない。しかしそんな映画でもアカデミー賞外国語映画賞にノミネートされているし、クライマックスの静かなシーンでも大きな感動を呼ぶことができるわけだ。もっとも、そのクライマックスに至るまでにはもう一つ大きな山がある。それは、ムッシュ・ラザールは教員資格はおろか、カナダの正式な永住権すら持っていないことが判明してしまうこと。「嘘つきは泥棒の始まり」だから、子供に教える教師が率先してウソをついていたのではどうしようもない。マルティヌ先生の自殺の件に固執するムッシュ・ラザールの動きに敏感になっていたヴァイアंकール校長は、管理者の立場としては、彼の教員欠格事由を発見したことがラッキーだったかもしれない。それが判明した以上、ムッシュ・ラザールが教室から追放されることは必然だ。しかし、マルティヌ先生の自殺についてここまで本音で語り合ったムッシュ・ラザールの教室では、教師と児童の心が一つに、また児童相互の心が一つになったのでは……。ムッシュ・ラザールはせめて正式に自分のクラスの児童に別れを告げたいと訴えたが、所詮それは無理な話。

しかして、そんな事態の中で訪れるラストシーンは一人教室内に立つムッシュ・ラザールに対してアリスが駆け寄っていき、それに応えるようにムッシュ・ラザールが大きく両手を広げ、腰を落としてアリスを抱きしめるシーン。これは、あのトラブル以来いかなる場合でも教師が生徒に触れることを禁じた校則に違反するものだが、今そんなものはクソくらえ！やはり本音が大切。あくまで心の触れ合いを！そう感じる事ができる名シーンだからこそ、そこから感動が……。

2012（平成24）年6月22日記



『ぼくたちのムッシュ・ラザール』

発売：ニューセレクト/ザジフィルムズ 税込価格：3,990円

micro_scope inc. (c)2011 Tous droits reserves